

□アクティブ・ラーニングの基盤を支える3機能

生徒指導の3機能

- 自己決定
- 共感的な人間関係
- 自己存在感

生徒指導の機能を生かした教育活動

アクティブ・ラーニングの基盤として、生徒指導の3機能を有効に機能させることが大切である。協働的な学習を進めるためには、「共感的な人間関係づくり」「自己存在感を感じる学習環境づくり」が必要である。また、主体的な学習を進めるためには、「自己決定の力を育成」することも必要である。このように、アクティブ・ラーニングの基盤として、生徒指導の3機能が大切な要素となる。

日常の授業に生徒指導の3機能を生かすためのキーワード

自己決定の場がある授業

「自ら課題を見つけ追求し、自ら考え判断し、表現する授業」

【主体的な学びを作り出す自己決定の場】

教材提示の工夫 発問の工夫 めあての設定 ネームプレート
学習形態の工夫 (少人数・T T) 学習方法の選択 (個別・グループ・ペア)

自己指導能力

学習意欲の向上

自尊感情の高まり

あいのある学習

共感的な人間関係が生まれる授業

「互いに認めあい、学びあうことができる授業」

【授業で共感的な人間関係を育成するために】

話しあい 聴きあい 伝えあい 認めあい(相互評価)
学習規律 セルフエスティームの育成 ライフスキル

自己存在感を感じる授業

「児童一人一人が学ぶ楽しさや成就感を実感できる授業」

【安心して学べるという自己存在感】

個々の児童理解 場の設定(自力思考、集団解決)
肯定的評価 振り返り(自己評価) メタ認知の視点

